

ふれあい

成田赤十字病院 広報誌

TAKE FREE
ご自由にお持ちください
2012.04 特別号
東日本大震災
の記録



成田赤十字病院 救護活動の記録

The back cover : 職員派遣状況一覧

成田日赤に関わる方々との“ふれあい”を大切に。

〒286-8523
千葉県成田市飯田町90-1 TEL. 0476-22-2311(代)
ホームページ <http://www.naritasekijyuji.jp/>



千葉県災害対策本部



東日本大震災 成田赤十字病院活動場所一覽

当院では医療救護班とDMAT(医師・看護師・薬剤師・事務等から構成されるチーム)を、東日本大震災発災後、直ちに宮城県石巻市へ派遣しました。

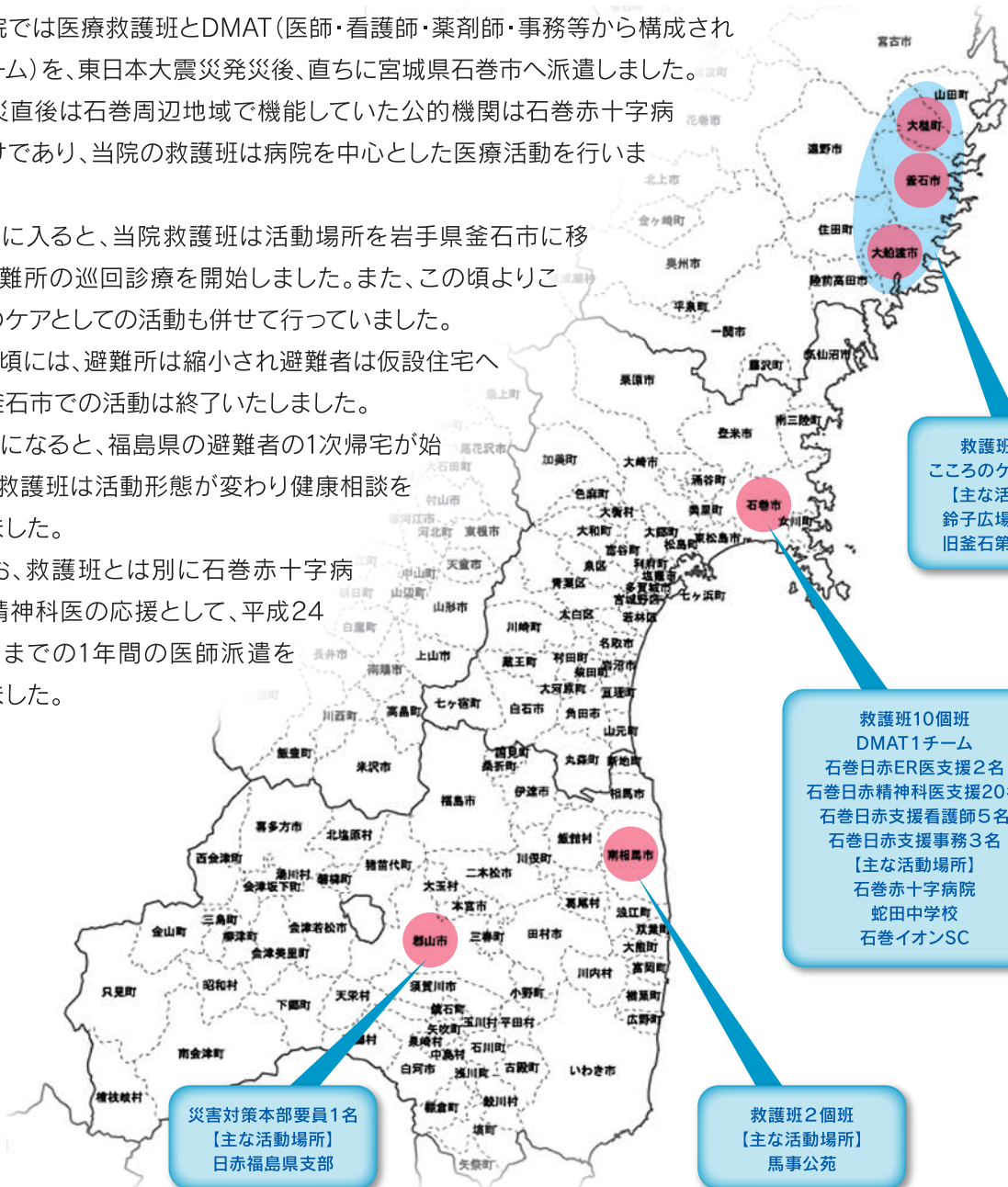
発災直後は石巻周辺地域で機能していた公的機関は石巻赤十字病院だけであり、当院の救護班は病院を中心とした医療活動を行いました。

4月に入ると、当院救護班は活動場所を岩手県釜石市に移し、避難所の巡回診療を開始しました。また、この頃よりこのころのケアとしての活動も併せて行っていました。

7月頃には、避難所は縮小され避難者は仮設住宅へ移り釜石市での活動は終了いたしました。

8月になると、福島県の避難者の1次帰宅が始まり、救護班は活動形態が変わり健康相談を行いました。

なお、救護班とは別に石巻赤十字病院に精神科医の応援として、平成24年3月までの1年間の医師派遣を行いました。



救護班8個班
こころのケア3チーム
【主な活動場所】
鈴子広場(釜石市)
旧釜石第一中学校

救護班10個班
DMAT1チーム
石巻日赤ER医支援2名
石巻日赤精神科医支援20名
石巻日赤支援看護師5名
石巻日赤支援事務3名
【主な活動場所】
石巻赤十字病院
蛇田中学校
石巻イオンSC

災害対策本部要員1名
【主な活動場所】
日赤福島県支部

救護班2個班
【主な活動場所】
馬事公苑

発災から写真で見る 成田赤十字病院の活動

3.11(金)

14:46 東日本大震災発生

14:51 災害対策本部設置

18:35 第1救護班出動(石巻市、～13日)

※ 19:30 救援物資搬送要員3名出動 成田市役所へ毛布搬送

※ 21:31 第4班出動(成田空港、～12日)

※ 21:35 第3班出動(ディズニーリゾート、～12日)



3.12(土)

0:41 第2班出動(石巻市、～14日)

13:40 DMAT出動(石巻市、～14日)

※は県内の活動



3.14(月)

7:15 第5・6班出動(石巻市、～17日)

3.15(火)

7:02 災害対策本部支援要員1名出動

(福島県支部、～18日)

3.16(水)

7:11 第7班出動(石巻市、～19日)

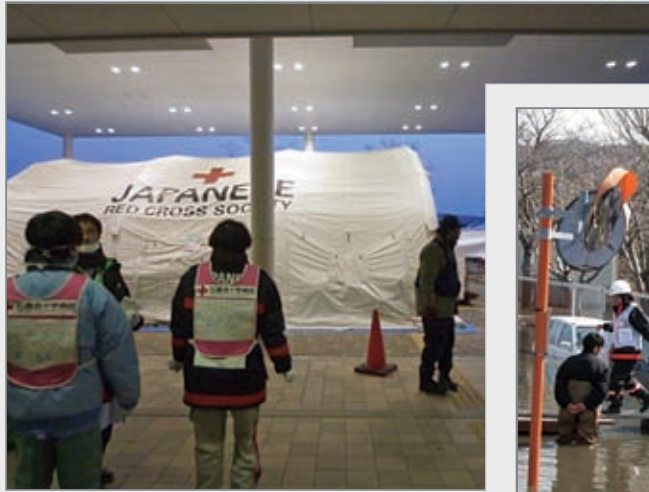
石巻日赤支援事務員1名出動



平成24年3月29日まで
成田赤十字病院派遣延人数
920人派遣



被災地内の活動



石巻赤十字
病院内



岩手県
釜石市



福島県
一時帰宅者



被災された方の為に...

職員派遣状況一覧

派遣種別	派遣班数	派遣期間	日数	主な派遣先		派遣職員						
						医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事	計	延人員
救護班	21班	平成23年3月11日(金)～平成24年2月26日(日)	91日間	千葉県	TDL	31	21	39	18	39	148	659
					成田国際空港							
				宮城県	石巻日赤							
					蛇田中学							
岩手県	鈴子広場											
DMAT	1班	平成23年3月12日(土)～平成23年3月14日(月)	3日間	宮城県	石巻日赤	1		3		2	6	18
災対要員	1班	平成23年3月16日(水)～平成23年3月18日(金)	3日間	福島県	福島県支部					1	1	3
事務支援	3班	平成23年4月 9日(土)～平成23年4月15日(金)	5日間	宮城県	石巻日赤					3	3	19
看護支援	5班	平成23年4月 9日(土)～平成23年7月14日(木)	44日間	宮城県	石巻日赤		1	6			7	60
こころのケア	3班	平成23年6月18日(土)～平成23年7月30日(土)	29日間	岩手県	釜石市			6		1	7	36
ER医支援	2班	平成23年6月28日(火)～平成23年7月15日(金)	19日間	宮城県	石巻日赤	2					2	19
精神科医支援	20班	平成23年5月 6日(金)～平成24年3月29日(木)	106日間	宮城県	石巻日赤	20					20	106
合計	56班		300日間			54	22	54	18	46	194	920

院内写真展に寄せられた感想



40年前、大槌病院から2軒となりに住んでいました。大槌病院の写真がありました。以前、住んでいた所での活動写真を見て、とても有難い気持ちでいっぱいです。自分では、募金くらいしかできませんが、これからもがんばって下さい。

2011年におきた東日本大震災に被災された方がた、心からお見舞い申し上げます。日本はいまがんばるとき、みな力合わせて日本がんばれ、ガンバレ!!



写真を見ました。私はこの写真の方々の様な被害は受けていませんが、この写真を見て、こころが痛みました。言葉がありません。ことばをなくします。何て声・ことばを出していいのだろうと。ひとは、困難にあった時は、ひとがそれぞれ出来る範囲で、能力・行動、ささえあっていくのがいいと感じます。県内にも被災された方がありますがみなさんの復興を心から願ってやみません。

